

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和05年度 対象年月： 令和 6年 3月
会計： 一般会計
局： 環境農政局
所属： 環境農政局森林再生課（直通 045-210-4336）
公会計事業： 治山費

1 主な事業内容

- ・ 治山事業（公共事業・単独事業）を実施する。
- ・ 飯山白山森林公園の維持管理事業を実施する。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

（単位：千円）

科目	R03決算	R04決算	R05決算	R03-R04増減率	R04-R05増減率
経常費用	2,323,921	2,723,121	2,590,298	17.2%	△4.9%
人件費	186,457	205,513	191,740	10.2%	△6.7%
物件費等 ※	2,089,566	2,485,918	2,376,296	19.0%	△4.4%
物件費	53,416	77,860	122,485	45.8%	57.3%
維持補修費	29,810	443,497	364,270	1,387.7%	△17.9%
減価償却費	2,006,340	1,964,561	1,889,542	△2.1%	△3.8%
移転費用 ※	689	278	340	△59.6%	22.3%
補助金等	60	131	194	118.3%	47.9%
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	-	-	-	-	-
使用料・手数料	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
純経常行政コスト（経常収益－経常費用）①	△ 2,323,921	△ 2,723,121	△ 2,590,298	△17.2%	4.9%
臨時損失	-	493,017	-	皆増	皆減
臨時利益	-	-	-	-	-
純行政コスト（①－臨時損失＋臨時利益）	△ 2,323,921	△ 3,216,139	△ 2,590,298	△38.4%	19.5%
財源	430,332	529,494	546,956	23.0%	3.3%
税収等	-	-	-	-	-
国等補助金	430,332	529,494	546,956	23.0%	3.3%
本年度差額	△ 1,893,589	△ 2,686,644	△ 2,043,341	△41.9%	23.9%
一般財源充当調整額	2,068,471	2,801,239	2,300,532	35.4%	△17.9%

（注）※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

（単位：千円）

科目	R04決算	R05決算	増減率	科目	R04決算	R05決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	35,061,629	33,889,944	△3.3%	固定負債	12,839,902	11,421,997	△11.0%
有形固定資産	35,061,629	33,889,944	△3.3%	県債	12,737,210	11,325,315	△11.1%
事業用資産	4,309	4,795	11.3%	長期未払金	-	-	-
土地	4,205	4,205	0.0%	退職手当引当金	102,691	96,682	△5.9%
建物	2,248	2,248	0.0%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△ 2,247	△ 2,247	0.0%	その他固定負債	-	-	-
工作物	3,949	3,949	0.0%	流動負債	1,122,429	1,108,906	△1.2%
工作物減価償却累計額	△ 3,849	△ 3,859	0.3%	県債	1,109,319	1,096,373	△1.2%
その他	3	3	0.0%	未払金	-	-	-
建設仮勘定	-	496	皆増	賞与等引当金	13,110	12,532	△4.4%
インフラ資産	35,057,319	33,885,149	△3.3%	預り金	-	-	-
土地	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-				
工作物	122,321,353	122,373,704	0.0%	負債合計	13,962,331	12,530,903	△10.3%
工作物減価償却累計額	△ 87,723,074	△ 89,619,917	2.2%	純資産合計	21,099,298	21,359,041	1.2%
その他	-	-	-	負債及び純資産合計	35,061,629	33,889,944	△3.3%
建設仮勘定	459,041	1,131,362	146.5%				
物品	0	0	0.0%				
無形固定資産	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
流動資産	-	-	-				
資産合計	35,061,629	33,889,944	△3.3%				

（注）負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書（経常費用の経年比較）

主な増減（R04-R05の比較）は物件費が 0.4 億円（ 57.3 %）増加しています。要因としては、治山施設に係る調査等委託事業が増となったためです。

② 貸借対照表（資産の部）

R05決算の内訳は、工作物が 327.5 億円で、資産の 96.6 %を占めています。そのほか、建設仮勘定が 11.3 億円、土地は 0.04 億円となっています。

③ 貸借対照表（負債の部）

R05決算の内訳は、県債が 124.2 億円で、負債の 99.1 %、退職手当引当金が 1.0 億円で 0.8 %を占めています。

④ 貸借対照表（純資産合計）

R05決算では、資産合計 338.9 億円から負債合計 125.3 億円を差し引いた 213.6 億円が純資産合計となり、純資産比率（純資産合計/資産合計）は 63.0 %です。

⑤ 貸借対照表（資産の経年比較）

主な増減（R04-R05の比較）は、インフラ資産の建設仮勘定が 6.7 億円（ 146.5 %）増加しています。要因としては、治山施設の整備を実施したためです。

（注1）②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

（注2）③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

（注3）他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費（退職手当引当金等）」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。